

## ◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(男性, 60歳代)あります。本年の累積報告数は20例となり, 過去5年間で最も多かった昨年の年間16例をすでに上回っています。性別では, 男性が全報告数の80%(16例)を占めており, 年齢階級別では, 全報告数の半数が70歳以上となっています。  
全国においても増加傾向にあり, 「感染症法」が施行された平成11年以降で最多となった昨年を上回るペースで858例が報告されており, 前年同時期の約1.3倍となっています。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(男性, 50歳代)あります。本年の累積報告数は14例となり, 過去5年の同時期と比較して最も多い報告数となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 80歳代)あります(第30週追加分)。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており, ワクチンによる予防が重要となります。なお, 平成26年10月から高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの予防接種が定期接種となりました。詳細は下記ホームページを御覧ください。  
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

## ◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症(EHEC)の年間累積報告数が12例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 3例(第30週追加分2例含む)【1月以降の累積報告数 12例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 20例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 14例】
- ・ 五類: クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型) 1例(第30週追加分)【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例(第30週追加分)【1月以降の累積報告数 26例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

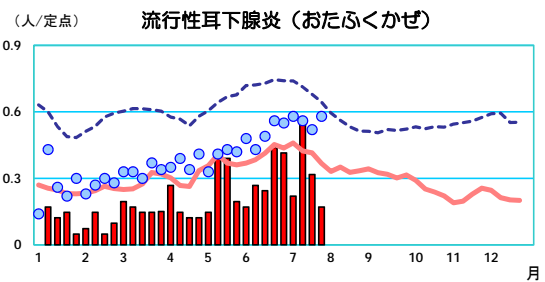
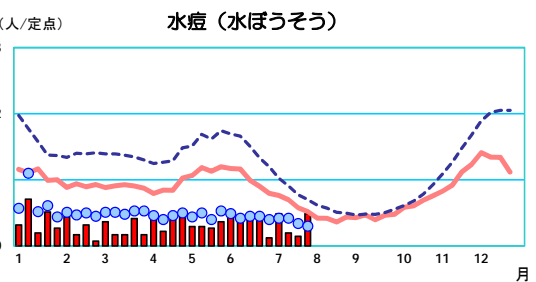
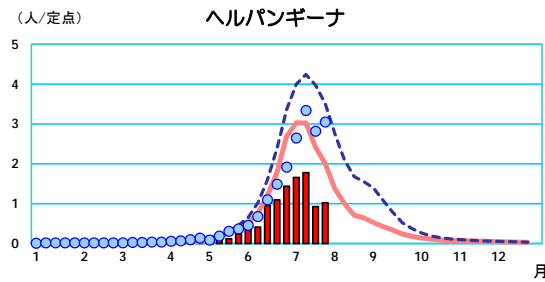
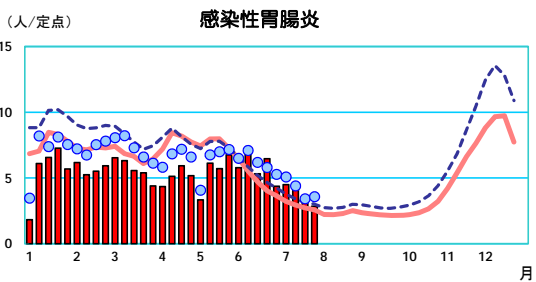
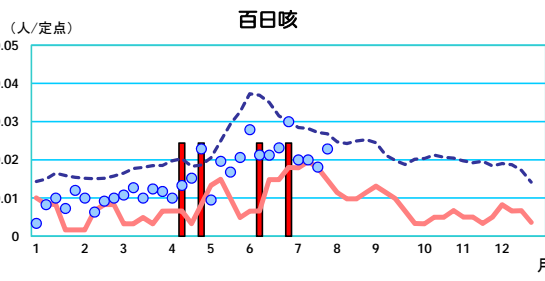
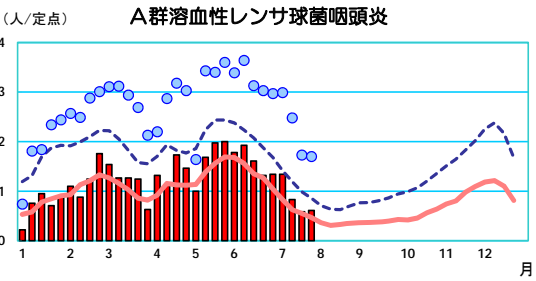
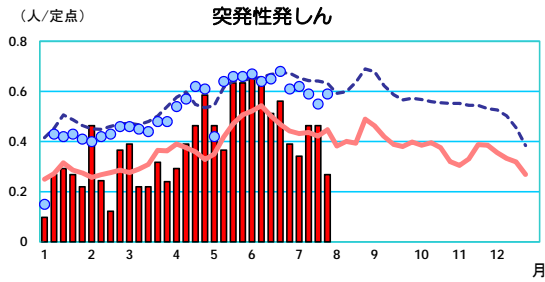
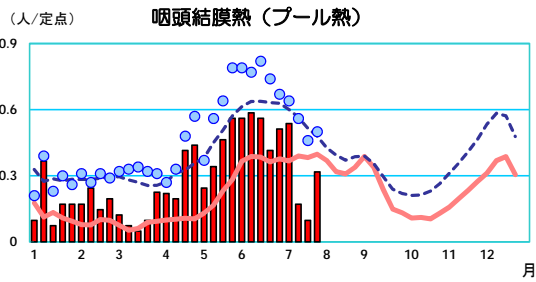
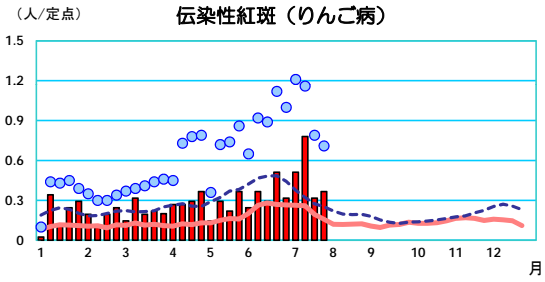
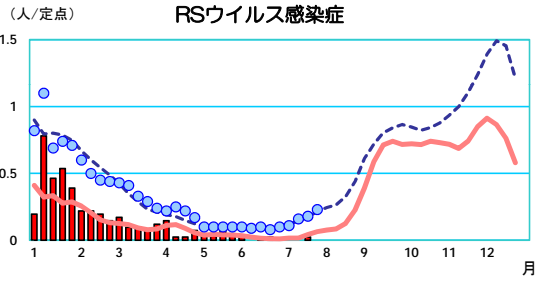
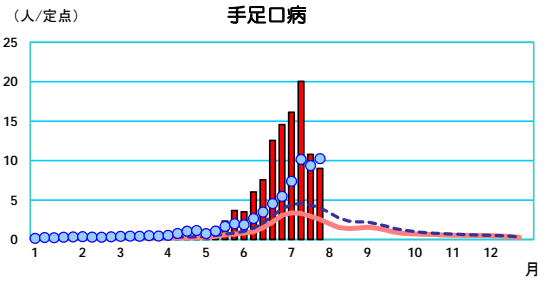
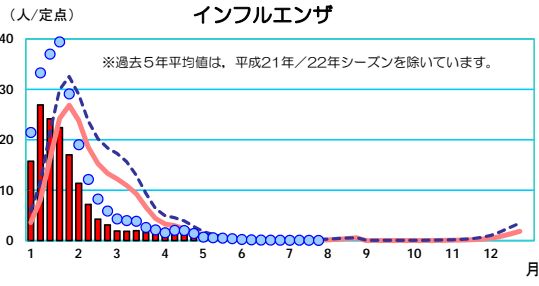
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.03	2
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	9.00	369
	② 感染性胃腸炎	2.85	117
	③ ヘルパンギーナ	1.02	42
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.61	25
	⑤ 水痘	0.49	20
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年8月6日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



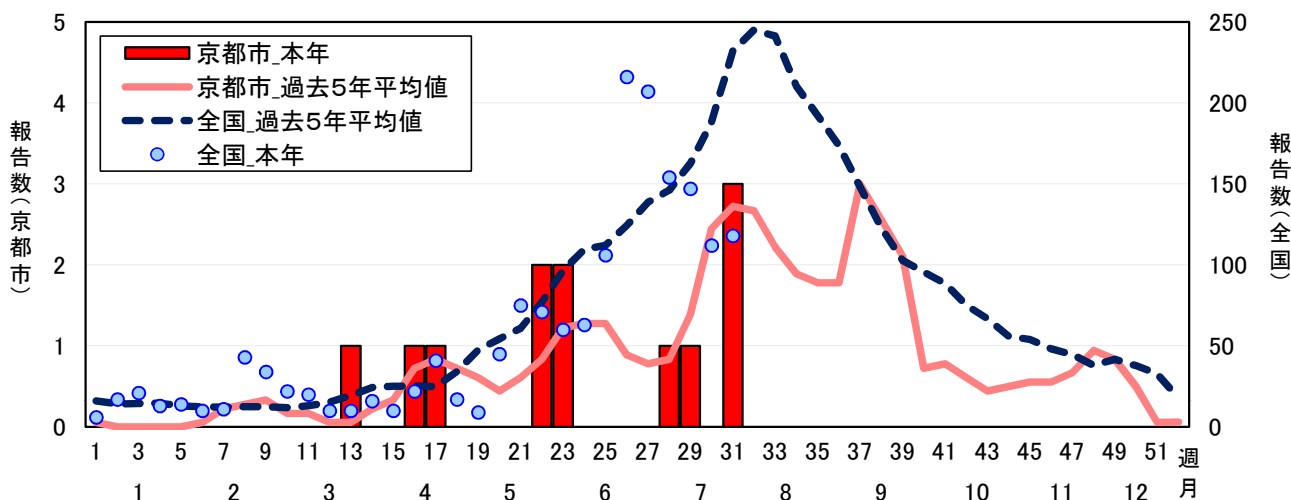
## 第31週(7月30日～8月2日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

腸管出血性大腸菌感染症(EHEC)の年間累積報告数が12例となりました。EHECは、激しい腹痛、水様性下痢及び血便を特徴とする腸管感染症です。そのなかでもO157に感染すると、他の血清型と比べて一般的に症状が重く、特に乳幼児や高齢者が発症すると溶血性尿毒症症候群(HUS)等の合併症を起こすことがあります。京都市では、過去5年間に於いて、EHECの届出は195例(平成22年 34例, 平成23年 34例, 平成24年 46例, 平成25年 46例, 平成26年 35例)あります。O血清型別では、O157 140例, O26 12例, O145 10例の順となり、O157が約7割を占めています。

夏季には、EHECの報告数が増加する傾向があり、推定感染経路については、飲食物を介する経口感染の割合が高くなります。EHECを予防するには、食中毒予防の基本(菌やウイルスをつけない、増やさない、やっつける)を守ることが重要であり、特に食肉等の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いが有効です。

また、毎年、他府県では保育施設における集団発生が多数発生しています。その予防には、汚物処理後及び食事前の手洗いの励行、汚物の適切な処理等を徹底することが必要です。

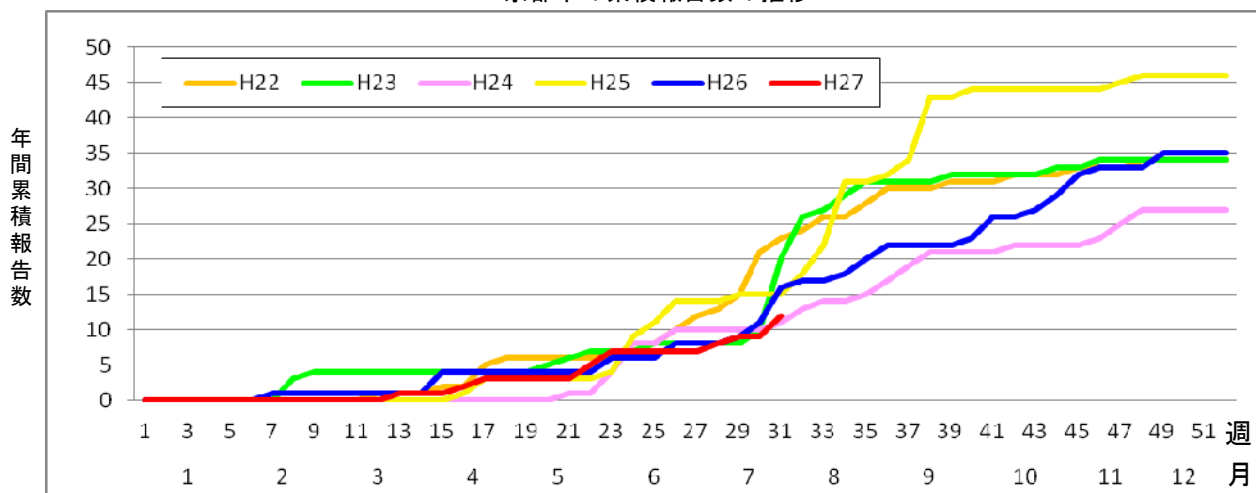
京都市及び全国の報告数の推移



京都市における診断年別 血清型別報告数

診断年	合計	O26	O69	O78	O86	O103	O111	O145	O157	O165	その他
平成22年	34	1				1	1		30		HUS患者で型別不明が1例
平成23年	34				1		1	1	30		HUS患者で型別不明が1例
平成24年	27							1	23	1	HUS患者で型別不明が2例
平成25年	46	5						8	33		
平成26年	35	6		1		3			24		HUS患者で型別不明が1例
平成27年第31週まで	12		1						9	1	HUS患者で型別不明が1例

京都市の累積報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第31週

疾病,行政区別報告数

平成27年7月27日～平成27年8月2日

データ入手日:平成27年8月6日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	1	2	5	2	13	-	-	-	4	-	-	1						
上京	1	-	1	1	2	2	25	1	-	-	2	1	-	-						
左京	-	-	2	3	18	7	82	-	2	-	5	1	-	-						
中京	-	-	-	1	5	2	19	-	-	-	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	1	-	20	-	12	-	-	-	4	-								
山科	-	-	1	4	-	-	17	1	1	-	-	1	-	-						
下京	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-								
南	-	-	1	-	9	-	22	2	-	-	7	-								
右京	-	-	1	5	15	3	57	1	2	-	1	-	-	2						
伏見	1	-	4	8	23	2	85	5	3	-	13	4	-	-						
西京	-	-	1	1	19	2	34	5	2	-	-	-	-	-						
京都市計	2	-	13	25	117	20	369	15	11	-	42	7	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	0.25	0.50	1.25	0.50	3.25	-	-	-	1.00	-	-	1.00						
上京	0.20	-	0.33	0.33	0.67	0.67	8.33	0.33	-	-	0.67	0.33	-	-						
左京	-	-	0.50	0.75	4.50	1.75	20.50	-	0.50	-	1.25	0.25	-	-						
中京	-	-	-	0.33	1.67	0.67	6.33	-	-	-	2.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	0.50	-	10.00	-	6.00	-	-	-	2.00	-								
山科	-	-	0.25	1.00	-	-	4.25	0.25	0.25	-	-	0.25	-	-						
下京	-	-	-	-	0.50	-	1.50	-	0.50	-	-	-								
南	-	-	0.33	-	3.00	-	7.33	0.67	-	-	2.33	-								
右京	-	-	0.20	1.00	3.00	0.60	11.40	0.20	0.40	-	0.20	-	-	2.00						
伏見	0.09	-	0.57	1.14	3.29	0.29	12.14	0.71	0.43	-	1.86	0.57	-	-						
西京	-	-	0.25	0.25	4.75	0.50	8.50	1.25	0.50	-	-	-	-	-						
京都市計	0.03	-	0.32	0.61	2.85	0.49	9.00	0.37	0.27	-	1.02	0.17	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第31週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年7月27日～平成27年8月2日

データ入手日:平成27年8月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		13	-	-	2	3	1	3	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	-	-	-	-	2	-	4	5	3	2	1	3	2	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		117	-	11	18	10	9	8	9	7	4	7	3	12	6	13	-	-	-	-	-	-
水痘		20	-	-	2	1	3	1	6	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	369	6	45	131	67	38	27	13	12	6	8	1	4	2	9	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		15	-	1	-	-	-	2	2	5	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		42	-	4	13	4	6	6	2	2	2	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		7	-	-	-	2	1	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.32	-	-	0.05	0.07	0.02	0.07	-	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.61	-	-	-	-	0.05	-	0.10	0.12	0.07	0.05	0.02	0.07	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.85	-	0.27	0.44	0.24	0.22	0.20	0.22	0.17	0.10	0.17	0.07	0.29	0.15	0.32	-	-	-	-	-	-
水痘		0.49	-	-	0.05	0.02	0.07	0.02	0.15	0.10	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	9.00	0.15	1.10	3.20	1.63	0.93	0.66	0.32	0.29	0.15	0.20	0.02	0.10	0.05	0.22	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.37	-	0.02	-	-	-	0.05	0.05	0.12	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.27	-	0.20	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.02	-	0.10	0.32	0.10	0.15	0.15	0.05	0.05	0.05	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.17	-	-	-	0.05	0.02	-	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第31週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年8月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	2	4	2	2	-	2
RSウイルス感染症	1	-	-	-	1	-
咽頭結膜熱	17	21	22	7	4	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	55	55	34	24	25
感染性胃腸炎	265	179	184	177	140	117
水痘	17	5	20	8	6	20
手足口病	515	597	661	822	443	369
伝染性紅斑	21	13	21	32	13	15
突発性発しん	23	16	14	19	19	11
百日咳	-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	45	59	68	73	38	42
流行性耳下腺炎	18	17	9	23	13	7
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	8	5	5	1	4
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	984	976	1,061	1,202	702	625

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.03	0.06	0.03	0.03	-	0.03
RSウイルス感染症	0.02	-	-	-	0.02	-
咽頭結膜熱	0.41	0.51	0.54	0.17	0.10	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.32	1.34	1.34	0.83	0.59	0.61
感染性胃腸炎	6.46	4.37	4.49	4.32	3.41	2.85
水痘	0.41	0.12	0.49	0.20	0.15	0.49
手足口病	12.56	14.56	16.12	20.05	10.80	9.00
伝染性紅斑	0.51	0.32	0.51	0.78	0.32	0.37
突発性発しん	0.56	0.39	0.34	0.46	0.46	0.27
百日咳	-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1.10	1.44	1.66	1.78	0.93	1.02
流行性耳下腺炎	0.44	0.41	0.22	0.56	0.32	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.80	0.50	0.50	0.10	0.40
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	24.43	25.35	26.24	29.68	17.20	15.53

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。